

ASEAN+3 債券市場フォーラム(ABMF)第30回会合について

平成31年1月28～29日

本年1月28～29日の間、本協会がナショナル・メンバーの一員として参加しているアジア債券市場の標準化・調和化の検討プロジェクトである「ASEAN+3 債券市場フォーラム」(ABMF: ASEAN+3 Bond Market Forum)の第30回会合が、マニラのアジア開発銀行(ADB)で開催された。

【会議の概要】

1. 市場の規制面に関するサブ・フォーラム1(SF1)では、最初に、ASEAN+3多通貨債券発行フレームワーク(AMBIF)に基づいて、フィリピン及びカンボジアで発行された債券の概要等を関係者が報告した後、信用保証・投資ファシリティ(CGIF)が、自社の保証業務の概要を紹介した。また、事務局等より、社債市場に関係した各国の規制調査、債券市場ガイド(Bond Market Guide)の各国版作業の進捗状況、アジア債券市場に関する情報ウェブサイト(Asian Bond Online)のアップデート等を説明した。
2. 市場のインフラ面に関するサブ・フォーラム2(SF2)では、域内各国の債券取引に関わる税制の調査概要、主催国フィリピンの国債取引プラットフォームである新システムの紹介と国内の標準化に向けた活動概要、メッセージ・フォーマット標準 ISO20022 の域内導入に関する進捗状況、クロスボーダーレポ取引の導入に向けた諸課題等を説明した。
3. 次回のABMF会合は、2019年6月24日の週に東京にて開催の予定。

I. Day 1

1. SF1の議論(1月28日)

SF1議長の開会挨拶が行われた後、以下の通り議事が進行した。

(1) ASEAN+3多通貨債券発行フレームワークのアップデート

昨年、フィリピンとカンボジアでそれぞれ発行されたAMBIF(ASEAN+3 Multi-Currency Bond Issuance Framework)債について、その概要が関係者から報告された。フィリピンで発行された債券については、フィリピン証券委員会(SEC)と発行会社が、AMBIF債券発行の意義と発行会社の事業紹介及び資金使途等を話した。また、カンボジアで発行された債券については、カンボジア証券委員会(SECC)と引受会社が、債券発行に関する規制上の取り組み課題とカンボジア債券市場の将来展望等を話した。

(2) CGIF(信用保証・投資ファシリティ)の保証業務の概要

CGIF(Credit Guarantee Investment Facility)社長が、自社の行っている、ASEAN+3域内で発行される債券の保証業務を説明した。2010年の設立以来、総額約14億ドルの債券を保証し、国別保証先もインドネシア、シンガポール、ベトナム等8か国に及び、今後は、現地通貨建ての社債に対する保証業務を強化していくと話した。

(3) 債券関係規制の各国調査

4か国(カンボジア、インドネシア、ラオス、ベトナム)の社債市場に関連する規制を調査し、その内容を比較・取りまとめた結果を公表した。公募・私募やプロ投資家向けの私募といった制度の有無や公募時の要件、取引情報蓄積機関(TR)の有無、銀行による引き受け業務の可否等について、各国制度の違いがあることを説明した。

(4) 債券市場ガイドのアップデート

中国には、インターバンク市場(Interbank bond market)と取引所市場(Exchange bond market)という2種類の債券市場があるため、中国版債券市場ガイド(Bond Market

Guide)については、2分冊で編集作業を進めていることが報告された。

(5) アジア債券オンラインウェブサイトのアップデート

情報発信を目的して立ち上げられた、アジア債券市場のウェブサイトである ABO (Asian Bond Online)の最新情報を紹介した。その中で、ABO では、新しく月間ニュースレター (Monthly Debt Roundup) を作り、域内債券市場の主要な金融データの公表を始めたことを報告した。また、アジア債券市場ガイドのウェブサイトへの掲載状況について、ベトナム版が掲載されたことを報告した。

2. SF2 の議論 (1月28日)

Day 1

本会議1日目のサブ・フォーラム2では、SF2 議長の開会挨拶が行われた後、以下のとおり議事が進行した。

(1) 証券口座の調査と各国税制の概要

ABMF の委託を受けた調査チームが現地を訪問して調査を実施。3か国(フィリピン、インドネシア、中国)の証券口座に関する以下の4項目を調査した。①口座開設手続き、②KYCルール、③証券口座の保有形態、④債券取引に関する税制を調査し、日本の制度も加えて、その概要を比較・報告した。

(2) 新レジストリーシステム(NRoSS)の概要紹介

フィリピン理財局が、既存システム老朽化のため、新たに導入されたフィリピン国債のプラットフォームとレジストリーであるNRoSSの概要を紹介した。主な機能は、発行市場でのオークションとDVP決済、流通市場でのDVP決済と担保設定、その他の機能として利金の支払いと繰り上げ償還等があることを説明した。

(3) フィリピン国内の標準化

グローバルな市場慣行との調和促進を目的として設立されたフィリピン市場慣行グループ(PH-NMPG)の活動概要を紹介した。現在、3つのWG(清算決済・コーポレートアクション・オープンコネクティビティ)が活動中だが、ISO20022導入のタスクフォース(TF)を新たに立ち上げて、2020年~2021年の間に導入する方向で議論を進めていることを話した。

(4) アジア域内の標準化に向けた進捗状況

ISO20022の域内導入に向けたこれまでのSWIFTの活動と今後のプロジェクト等を報告した。また、資金決済・証券決済・外国為替取引及び貿易金融の3つのカテゴリでの検討状況を説明した。カテゴリごとに検討状況は異なるが、資金決済については、4年間の併存期間を設けた上で、2021年にメッセージタイプをISO20022に移行する方向で作業を進める予定であること等を報告した。

II. Day 2 (1月29日)

(5) クロスボーダーレポWGの検討状況

NTT データが、クロスボーダーレポ取引の域内導入の諸課題を、KIF(韓国金融研究所)が、クロスボーダー取引においてアジア各国の国債が活用されていない調査結果等を、BNY Mellon が、ASEAN+3域内の債券市場が着実に成長していることを、中国証券保管振替機構(CCDC)が、中国インターバンク債券市場(CIBM)とCCDCの概要を、それぞれ説明した。

(6) データエコシステムのAPECロードマップ

みずほ銀行の担当者がAPEC傘下のアジア太平洋金融パートナーシップ(APFF)で検討し

ている「金融サービス業におけるデータエコシステムのための APEC ロードマップ」の概要と今後の予定等を説明した。

(7) 市場インフラでの DLT の活用

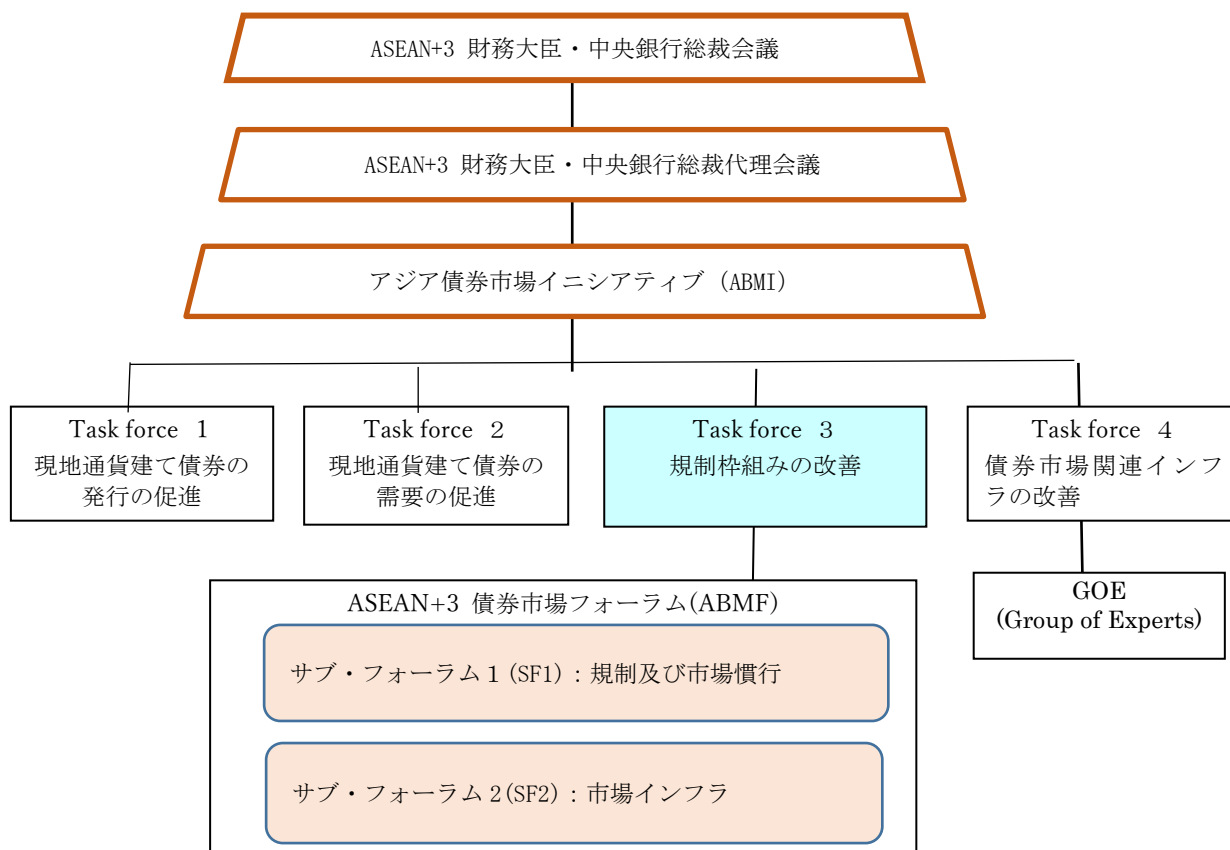
DTCC 担当者が、最初に、アメリカの DLT 活用に向けた国内の検討状況を紹介した。一方で、DLT は金融市場を大きく変える可能性を有しているが、進化中の技術であって、広範囲の業務で導入を進めるには安全性が十分に確立された技術とは言い難いと認識されていることを説明した。

(8) まとめ

大臣会合を含めた、今年に関連諸会議の開催予定を報告するとともに、次回の ABMF 会合は 6 月 24 日の週に東京で開催予定であることが発表された。

(参考 1) ABMF の概要

ABMF (ASEAN+3 Bond Market Forum) は、2003 年に開始されたアジア債券市場育成イニシアティブ (Asian Bond Markets Initiative : ABMI) の中で、各国債券市場の規制面を審議するタスク・フォース 3 (TF3) の下部機関として、2010 年 5 月に構想され、同年 9 月に官民合同の審議ユニットとして設立。ASEAN に中国、韓国、日本の 3 か国を加えた ASEAN+3 地域内でのクロスボーダー債券取引を推進していくにあたり、規制面、インフラ面を含めた標準化・調和化をはかるための実務レベル協議と作業を行うことを目的とし、規制面の問題を審議するサブ・フォーラム 1 (SF1) と、市場インフラの問題を審議するサブ・フォーラム 2 (SF2) の二つの部会がある。2010 年 9 月に第 1 回目の ABMF 会合が東京で開催されて以降、アジア域内で計 30 回の会合が開催されている。



(参考2) 会議日程

[1日目: サブ・フォーラム1及びサブ・フォーラム2] (2019年1月28日)

時間	テーマ	スピーカー等
09:00 - 09:10	全体歓迎挨拶	ADB Vice President
09:10 - 09:15	サブ・フォーラム1(SF1)開会挨拶	SF1 議長
09:15 - 10:45	セッション1 ASEAN+3 多通貨債券発行フレームワーク (AMBIF)最新情報 (フィリピン) ・市場変革時の規制機関の役割 ・金融包摂を支えるフィンテックと債券市場 (カンボジア) ・初めての債券発行の教訓 ・カンボジア債券市場の展望	(フィリピン) ・フィリピン SEC ・AEON Credit Service (カンボジア) ・カンボジア SEC ・SBI Royal Securities
11:05 - 11:20	セッション2 信用保証・投資ファシリティ (CGIF)の保証業務	CGIF
11:20 - 12:15	セッション3 各国調査(インドネシア・ラオス・ベトナムの債券関係規制)	ADB 事務局、野村総研
12:15 - 12:35	セッション4 債券市場ガイド(Bond Market Guide)の進捗	ADB 事務局
12:35 - 12:55	セッション5 アジア債券市場モニターの最新情報	ADB 事務局
12:55 - 13:00	SF1 閉会挨拶	
14:10 - 14:15	SF2 開会挨拶	
14:15 - 14:30	セッション6 証券口座調査と課税関係のまとめ	NTT データ
14:30-15:00	セッション7 フィリピンのペーパーレス債券登録の新システム	フィリピン理財局
14:30 - 15:00	セッション8 フィリピン国内の標準化の進捗と動向	DTCC
15:35 - 15:55	セッション9 域内標準化の進捗と動向	SWIFT
15:55 - 16:05	まとめ	

[2日目: サブ・フォーラム2] (2019年1月29日)

時間	テーマ	スピーカー等
09:00 - 10:20	セッション1 0 ・クロスボーダーの担保とレポ取引 WG ・ワーキング・グループのまとめ ・主な担保物の利用状況調査 ・CCDCでのクロスボーダー担保	NTT データ 韓国金融研究所(KIF) BNY メロン 中国証券保管振替機構 (CCDC)
10:40 - 11:10	セッション1 1 市場インフラを繋ぐ DLT の活用	DTCC
11:10 - 11:40	セッション1 2 APEC 域内データのエコシステムのロードマップ	みずほ銀行
11:40 - 12:00	セッション1 3 債券市場を発展させる優れたビジネス慣行	ADB 事務局
12:00 - 12:10	まとめ	ADB 事務局
12:10 - 12:15	閉会挨拶	